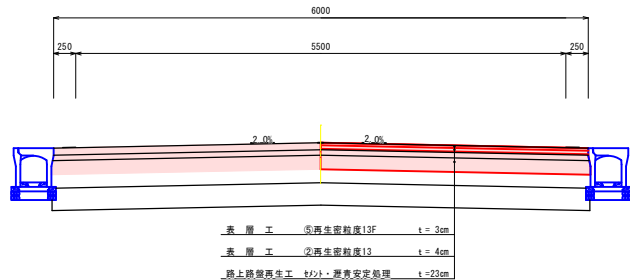


令和7年度	木ノ下・鶉久保線舗装補修工事
工事番号	第45号
路線名	木ノ下・鶉久保線
施工箇所	おいらせ町鶉久保山地内
縮尺 (A1)	図示
図面番号	3 葉中 2
おいらせ町 地域整備課	

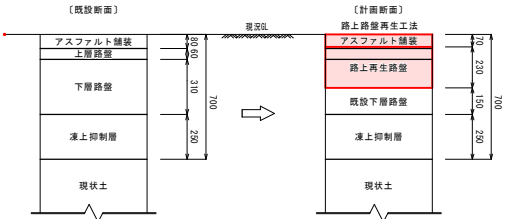
標準断面図

S=1/30



※ 標記の横断勾配は標準値を示したものであり、施工時は現場の勾配に合わせてものとする。

設計条件	
交通量区分	Ⅲ (100台/250台/日未満)
設計CBR	2%
設計期間	20年
目標TA	24
凍結深	70cm



〔既設断面〕			
種別	厚さ (cm)	TAO	
アスファルト舗装	8	8×0.50	4.00
既設上層路盤	6	6×0.20	1.20
既設下層路盤	31	31×0.15	4.65
凍上抑制層	25	—	—
合計	70	—	9.85

〔計画断面〕			
種別	厚さ (cm)	TAO	
アスファルト舗装	7	7×1.00	7.00
路上再生路盤	23	22×0.60	14.96
既設下層路盤	15	15×0.15	2.25
凍上抑制層	25	—	—
合計	70	—	24.21

※ 路上再生セメント・遮音安定処理路盤の配合量と使用量は以下の通りとする。
セメント混入率 2.5% 使用量 1.232 t/100㎡
As乳剤混入率 4.5% 使用量 2.338 t/100㎡

工事受注者は、工事に先立ち、配合試験を行い添加材使用量の確認を行い、発注者の承認を得ることとする。